



## 第6回新人助産師研修

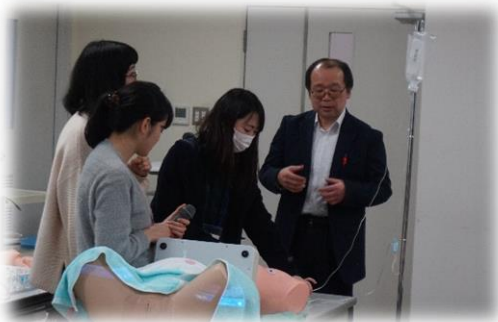


平成31年1月20日（土）、山口県看護研修会館において、第6回新人助産師研修が開催されました。昨年に引き続き鳥取県立中央病院の高橋弘幸先生に「産科ショック（出血の対応）」について講義をして頂きました。新人助産師を含め38名の参加がありました。

まず、「産科危機的出血はいつでもどこでも起こりえる」と話され、分娩第3期の積極的管理・産科危機的出血の対応ガイドライン・全身管理・止血処置について詳しくご講義されました。産科出血において、まずはPPH（産後の過多出血）を起こさないための対応、PPHが起こってしまった場合の観察ポイントや対応、助産師がどのような行動をとるべきかなど非常に学びの深いご講義でした。



午後からは色々な症例に対しての演習が行われ、新人助産師がファントムや胎盤模型など用いてロールプレイを行い、実際の産科出血の場面を学びました。産科危機的出血の起きた場面では、コマンダー（指示者）を決める事、医師・助産師・看護師がそれぞれの役割を果たしていくこと、先を予測した行動が必要であることを改めて学ぶことができました。



研修後の感想でも、「適切なアセスメントの重要性を学んだ」「ローリスクの分娩でも万が一を考えて対応できるように行動していきたい」などの意見があり、現場で活かせる学びの深いご講義であったと感じました。また、改めて命を預かるということの責任の重さを痛感し、委員自身もこれからさらに知識を増やし、技術を向上できるよう努力していこうと強く感じました。

来年度も、様々な研修を企画しています。ぜひご参加ください。